

花道の思想

2016年3月刊行予定

井上 治 著

▶四六判・262頁／定価：本体 1,800円（税別） ISBN978-4-7842-1839-4

「花道の思想」を紐解くべく、第一部では歴史の流れを概括しながら「出生」（草木の自然な形姿）「花矩」（人為的な意匠）「修行」（挿花を通じての求道）という観点で「花道思想の構造」を整理。

第二部では、古くから挿花と密接に結びついていた宇宙像が江戸末期に揺れ動き、それが花道思想にどのような影響を与えたかをみた後、近代の花道家が新たな社会・文化・学術的環境のなかで、花道文化の伝統とどのように向き合ったのかを「風流」と「芸術」という概念に注目して考察する。

花道思想の構造と、その近代における変容をみることで、日本の挿花文化の背後にある思想、そして今日の挿花文化の位置に迫る。



内容目次

序 文 倉澤 行洋
緒 言

第一部 花道思想の構造

第一章 出生論

- 第一節 縮景の思想
- 第二節 写生の思想
- 第三節 矯正の思想

第二章 花矩論

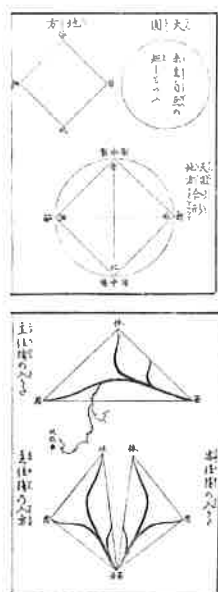
- 第一節 「しん」の思想
- 第二節 道具の思想
- 第三節 三才の思想

第三章 修行論

- 第一節 稽古の思想
- 第二節 工夫の思想

小 括

結 語



天円地方図(上)
鱗形と三才の枝(下)
『挿花百練』
文化13年(1816)より

第二部 近代と花道思想

第四章 花道と「宇宙」

- 第一節 天円地方
- 第二節 紅毛の天学
- 第三節 花矩と人倫

第五章 花道と「風流」

- 第一節 明治の花
- 第二節 風流と自然

第六章 花道と「芸術」


- 第一節 自由花運動
- 第二節 芸術と宗教
- 第三節 近代と求道

小 括

いのうえ・おさむ 1976年、大阪府生まれ。京都大学文学部卒業、同大学院文学研究科博士後期課程修了。博士（文学）。現在、京都造形芸術大学准教授。花道研究会「北白川会」主宰。

思文閣出版

〒605-0089 京都市東山区元町355 tel.075-533-6860 fax.075-531-0009
http://www.shibunkaku.co.jp E-mail:pub@shibunkaku.co.jp

注文票		発行：思文閣出版		(京都 取引コード 3402)	
冊数	冊	花道の思想		本体1,800円(税別)	ISBN978-4-7842-1839-4
お名前			tel		
			e-mail		
ご住所	〒				
送本方法	代引 (書籍代+消費税+送料400円を現品と引き替えにお支払い、代引手数料は弊社負担) ◎ 最寄りの書店・ネット書店でもお買い求め、お取り寄せできます ◎				

本書HPのQRコード

※華道古典名作選集 [全10巻]

花図を中心とした華道書善本(刊本)10点を忠実に複製。流祖去風の門人藩梅子が挿花を写生した花林清賞、室町時代の華道の伝書で秘伝とその心得を秘記した仙伝抄、徳川時代遠州流に習熟した末生齊一甫により文化13年に出版された挿花百練、貞享5年富春軒仙溪により刊行され真行草の風体論を発展させた立華時勢粧、貞享元年刊行、抛入花の最初で後世に大きな影響を与えた抛入花伝書、松月堂古流の是心軒一露居士により天明5年に刊行された草木出生伝、池坊専純の弟子落帽堂暁山による寛延4年版の生花正意四季の友、貞享5年の刊で古形研究の資料ともいえる頭書立華指南、池坊専応口伝の花伝書・仙伝抄の上文・正阿弥の花伝を収める立花初心抄、元禄11年刊で池坊専好・専存・専養などの立花を収める新撰瓶花図彙の10輯。

▶A4判変・和装本ノ

- | | | |
|------------|---------------|-------------------|
| ①花林清賞 | 本体 6,500円(税別) | ISBN4-7842-0210-2 |
| ②仙伝抄 | 本体 4,400円(税別) | ISBN4-7842-0211-0 |
| ③挿花百練 | 本体 5,500円(税別) | ISBN4-7842-0212-9 |
| ④立華時勢粧 | 本体 7,500円(税別) | 【品切】 |
| ⑤抛入花伝書 | 本体 5,400円(税別) | ISBN4-7842-0214-5 |
| ⑥草木出生伝 | 本体 6,000円(税別) | ISBN4-7842-0215-3 |
| ⑦生け花正意四季の友 | 本体 6,000円(税別) | ISBN4-7842-0216-1 |
| ⑧頭書立華指南 | 本体 5,500円(税別) | ISBN4-7842-0217-X |
| ⑨立花初心抄 | 本体 4,900円(税別) | ISBN4-7842-0218-8 |
| ⑩新撰瓶花図彙 | 本体 5,500円(税別) | 【品切】 |

花道古書集成 [全5巻]

華道沿革研究会編

本書は、初期東山時代の代表的秘伝書をはじめ、江戸初期、中期の諸流祖の花道書から幕末に至る主な花道書を収録し、大日本華道会より昭和5年に刊行されたものの復刻。貴重な文献と作例図により生花の歴史・理論・技法の真髄に触れることができる。

▶A5判・3400頁ノ本体 32,000円(税別) ISBN4-7842-0087-8

続花道古書集成 [全5巻]

続花道古書集成刊行会編

先の『花道古書集成』が古刊本中心であるのに対し、今回は未刊の古写本に重点をおき続篇をおくる。花道草創の室町時代初期から各流派成立、爛熟の時期江戸時代末に至る秘伝、稀覯本を網羅し、中でも「華厳秘伝之大事」「極儀秘本大巻」「藤掛似水華伝書」「諸花抛入百瓶圖」「雲の上」などは特筆すべきである。

▶A5判・2710頁ノ本体 35,000円(税別) ISBN4-7842-0088-6

※花籠と竹花入

木下桂風著

1500年の歴史をもついけばな歴史のなかで、その器として籠と竹筒を発明したのが東山時代の芸匠で知られた相阿弥である。青竹から始まり、きんめい竹、白竹、枯竹、斑竹、煤竹、縞竹、黒竹、胡麻竹、四方竹、迎葉竹とそれぞれ特徴を生かした雅趣と伝統の美と心を豊富な挿図と共に解説する。

▶A5判・178頁ノ本体 2,900円(税別) ISBN4-7842-0208-0

※花みる心 [全2巻]

浅井敬太郎著

花弁園芸学の権威であり、美学・歴史学にも造詣深かった著者が40年にわたり「華道」「未生」「園芸新知識」「自然と盆栽」「京都園芸」等の雑誌に発表した論文・随筆を一堂に収める。そこには花卉学といけばな、理論と感覚のみごとな融合がみられる。華道・茶道・園芸・植物学を学ぶ人々に。

▶菊判・総800頁ノ本体 8,400円(税別) ISBN4-7842-0205-6

国宝油滴天目茶碗と国宝飛青磁花生

伝世の名品

大阪市立東洋陶磁美術館監修ノ三好和義撮影

大阪市立東洋陶磁美術館が所蔵する「唐物」の名品のなかから7点を選び、写真家三好和義氏の写真により、その魅力を詳細に細部に至るまでカラーの高精細大型図版で紹介。2012年秋に同美術館で行われた展覧会に際して製作された書籍。(初版2012年10月、編集発行:大仲社)

▶A4判変・64頁ノ本体 1,905円(税別) ISBN978-4-9905-6315-8

茶と室内デザイン

小泉和子編

日本にもたらされた喫茶文化により、室町時代の書院造、大名居館、侘び茶による草庵風茶室など、和風住宅の室内意匠がつけられた。茶が日本住宅の室内意匠にあたえた影響について、それぞれの専門の立場からの論考を収録し、豊富なカラー図版とともに、茶道と室内デザインの関係性を考える一書。

▶B5判・224頁ノ本体 3,500円(税別) ISBN978-4-7842-1808-0

応用美術思想導入の歴史

ウィーン博参同より意匠条例制定まで

天貝義教著

ウィーン万国博覧会から二度の内国勲業博覧会を経て、「デザインの法」である意匠条例が制定されるまで、応用美術思想がいかに学習され、明治期の美術・工芸界において指導的役割を果たしていったかを明らかにする。

▶A5判・400頁ノ本体 7,500円(税別) ISBN978-4-7842-1505-8

岡倉天心の比較文化史的研究

ボストンでの活動と芸術思想

清水恵美子著

岡倉覚三(天心)の生涯の活動に通底する思想や、ボストン社会で成そうとしていたことは、いかなるものだったのか。またボストンと日本における岡倉像を比較し、固定化され流布されている「岡倉天心」像を再検証。

▶A5判・548頁ノ本体 10,700円(税別) ISBN978-4-7842-1605-5

西鶴の文芸と茶の湯

石塚修著

浮世草子作家・井原西鶴(1642-1693)は、千利休に代表される「わび茶」の美意識に強く影響を受けていた。その文芸作品に茶の湯文化がいかに反映されていたのかを、俳諧師時代から『好色一代男』などを経て、遺稿集にいたるまでの浮世草子作品をとりあげて、その影響関係を検証する。

▶A5判・316頁ノ本体 6,000円(税別) ISBN978-4-7842-1730-4

※近代茶道の歴史社会学

田中秀隆著

「伝統文化とは近代に自己変革に成功した文化である」との近代茶道史テーゼにもとづき、近代国家の文化的アイデンティティの生成構造面から、茶道が日本の「伝統文化」として認知されるようになった過程を考察する。

▶A5判・454頁ノ本体 6,500円(税別) ISBN978-4-7842-1377-1

フェノロサ社会論集

山口静一編

明治期の美術運動に足跡を残したことで著名なフェノロサだが、来日当初の目的は東京大学でミル、スペンサー、ヘーゲルなど社内思想を講じたことだった。本書では日本の学会誌や新聞・総合雑誌に発表された政治・経済・宗教・哲学・比較文化論などに関する主要な論文・講演13篇を収録。

▶A5判・330頁ノ本体 7,800円(税別) ISBN4-7842-1028-8

響きあう東西文化

マラルメの光芒、フェノロサの反影

宗像衣子著

フランスの詩人・ステファヌ・マラルメ(1842-98)の諸芸術の相関的研究からフェノロサとの関係を、東西の芸術文化交流の諸相および日本文化の価値を、現代に向けて照らし出す著者の10年にわたるマラルメ探究の成果。

▶A5判・394頁ノ本体 5,400円(税別) ISBN978-4-7842-1814-1

インタビュー・エッセイや新刊情報を掲載した広報誌『鴨東通信』を年4回無料でお送りしています。
電話・fax・Eメールでお申し込み下さい。※印の書籍は外函・カバーに汚れ・傷みがございます。